

第36回松戸まつり

つくってあそぼう2009 in 松戸まつり

日時：平成21年10月3日(土)～4日(日) 11:00～17:00

会場：聖徳大学生涯学習社会貢献センター(10号館)2階ギャラリー

主催：聖徳大学生涯学習研究所

協力：聖徳大学生涯教育文化学科

内容：スタンプラリー形式の宝探し・工作・ゲーム体験コーナー

魚つりゲーム、ハロウィン飾り作り(折り紙)、パウチカード作り、おばけ退治ゲーム

参加人数：1日目 約100名(大人45名、子ども50名程度)

2日目 約120名(大人50名、子ども70名程度)

伊勢丹商店会フェア

日時：平成21年10月3日(土)～4日(日) 11:00～17:00

会場：松戸駅西口伊勢丹通り商店街

主催：松戸市、松戸商工会議所<松戸まつり>

伊勢丹通り商店会<伊勢丹商店会フェア>

協力：聖徳大学生涯学習研究所、聖徳大学生涯教育文化学科

内容：キッズスクエア(ふわふわピースドッグなど4点)の遊具運営補助(両日)

SEITOKUサウンドフェスティバル(フラダンスなど)のステージ運営(4日のみ)

参加人数：1日目 約1000名

2日目 約2000名



10月3日～4日の2日間、「楽しさいっぱい見どころ満載」をキャッチフレーズに、第36回松戸まつりが開催され、松戸駅周辺が活気に包まれました。

聖徳大学生涯学習研究所では、生涯学習社会貢献センター（10号館）において「つくってあそぼう」を実施し、2階ギャラリーをハロウィン一色に染めて工作とゲームを提供し、両日とも100名を超える来場者を迎えました。

昨年同様、魚釣りゲームとラミネートのオリジナルしおり作りが人気で、リピーターも多く、10号館を会場としたイベントが定着しつつあることを感じます。

アンケートでは、「学生がとても親切だった」、「たくさん遊んでもらって子どもが喜んでいた」等々、嬉しい感想が数多く寄せられました。

また、西口の伊勢丹通りでは、聖徳大学の法被を身につけた生涯教育文化学科の学生が、伊勢丹通り商店会と協力してキッズスクエアの運営に参画しました。ふわふわピースドッグやスループスなど4つの遊具が設置され、毎年子どもに人気のコーナーです。

1日目は時折強い雨が降るあいにくの天気で、一時的に運営を中断した時間帯もありましたが、音楽パレード通過後に遊具を設置すると、周りで待っていた子どもたちが集まり、あっという間にゲームの順番を待つ列ができました。

2日目は遊具の運営とともに、「聖徳サウンドフェスティバル」を開催しました。ミュージカル研究同好会OGによる「オズの魔法使い」や、ハワイアンダンス同好会によるフラダンス、音楽研究部の読み聞かせや歌、音楽文化学科学生による歌の発表があり、大勢の観客を集めました。毎年この催しのために足を運んでくださるという方もいらっしゃいました。

訪れた市民の方々から、「こんなに学生が協力していることを初めて知った」、「みんな優しい」、「よく頑張った！」とのお声をいただきました。こちらは2日間で3000名以上の人出があったのではないかと思います。

イベント運営に関わった学生は総勢22名。事前準備も含めると40名ほどの学生が松戸まつりに参画しました。松戸まつりを終えた学生たちの顔は達成感と満足感にあふれ、まちの人々の思いを肌で感じ、様々な人々と接することで、2日間で一回りも二回りも成長したように見えます。

今後も、地域活性化に一役買うべく、地域の人々や団体、商店街との連携を深めていきたいと考えています。

